



『ウルヴァンラッシュ』

脚本：アストン=路端
画像：コミポ!



夏休みを迎えた

母方の実家を訪れるのは
年初め以来になる

シューシュー
シューシュー
シューシュー



母の背中を追って上った
遥かに見えた階段も

今ではそれ程までに
高さを感じない

ゴゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴ



シューシューシュー
シューシューシュー
シューシューシュー

カニッシュ

『ウルヴァンラッシュ』

脚本：アストン＝路端
画像：コミポ!



憧憬の中の風景が

今でも形を残していれば

心は日常を離れ

どこからか安らぎがやってくる



いただきまーす



この地域では毎年

夏のこの時期に花火を上げる

小さな町だが

帰省する人が多く

それを見越した屋台が並び

踊りの音色は

夜中まで途切れずに続く



夜になれば

そんな楽しみが待ち

だから

ゴゼンツサマを

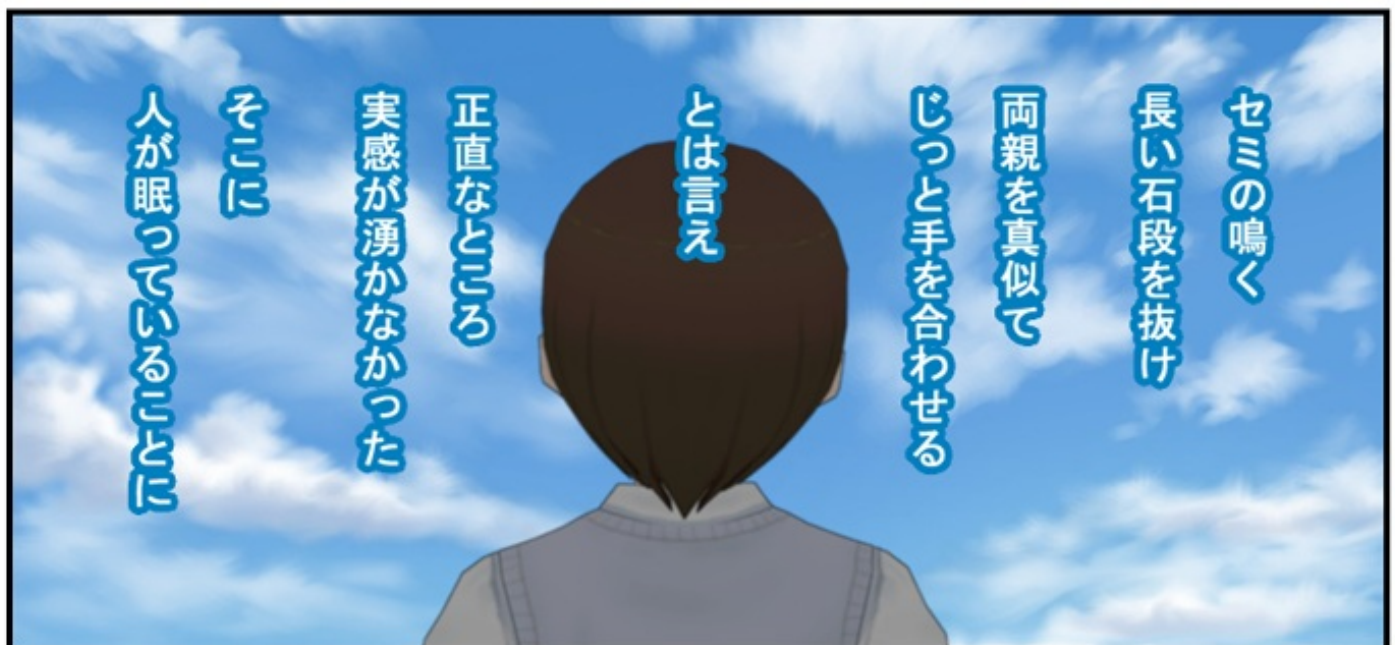
お迎えするのだと

着いて間もなく

支度を整え

墓参りに行くのが

毎年の決まりごとだった



セミの鳴く

長い石段を抜け

両親を真似て

じつと手を合わせる

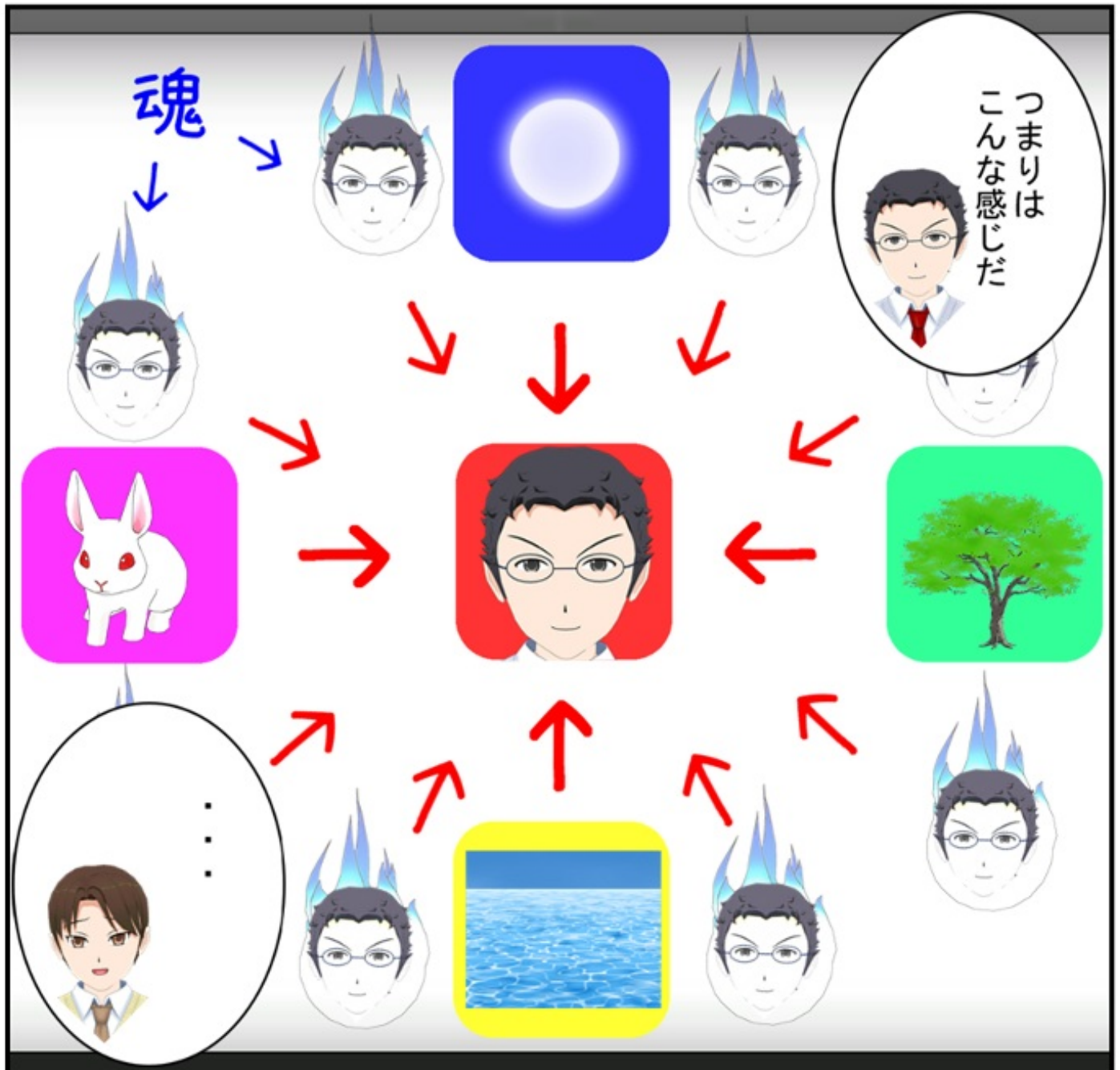
とは言え

正直なところ

実感が湧かなかつた

そこに

人が眠っていることに



盂蘭盆会 (うらぼんえ)

どは？

旧暦七月十五日を盂蘭盆と呼び
父母や祖霊を供養する行事である

古代イランの言葉「ウルヴァン」を
語源とする説がある

意味は霊魂

人間を含む森羅万象に宿り
最も神聖な魂が「フラワシ」

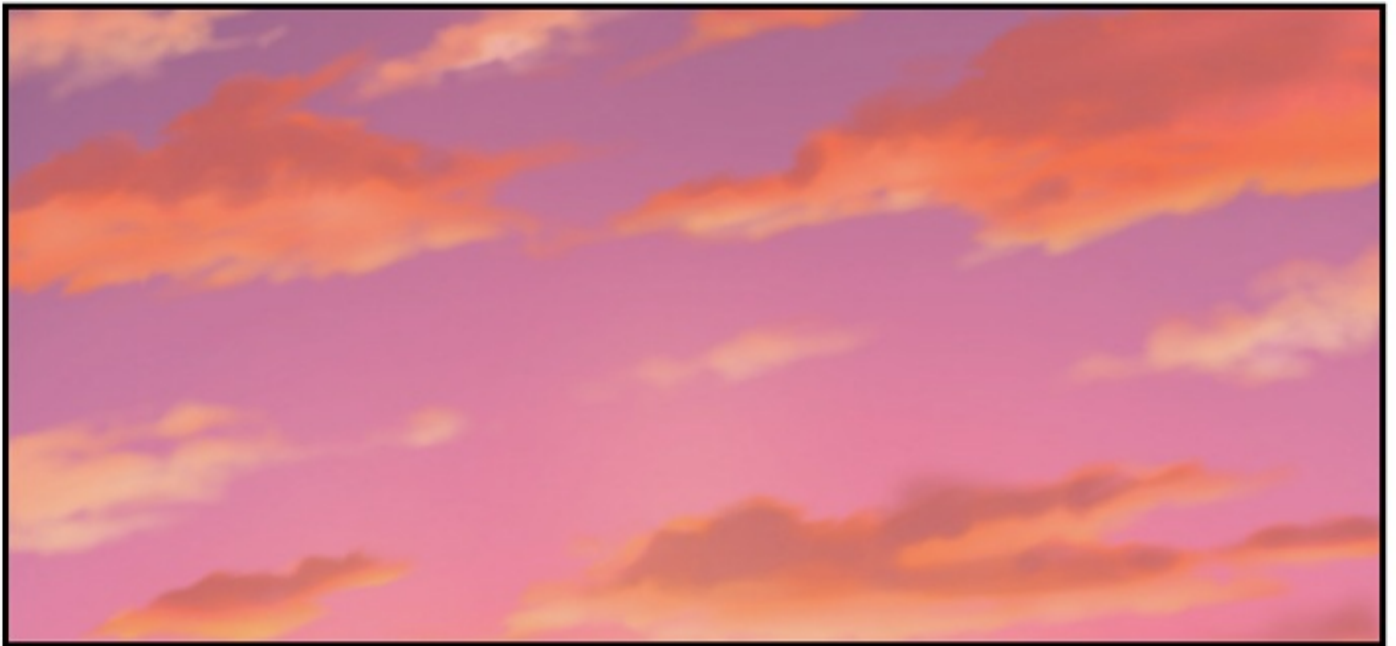
このフラワシ信仰が
祖霊信仰に結びついたと言う

日本では「盆会」「お盆」「精霊会」
「魂祭」「歓喜会」などと呼ばれている



昔よく
遊んだっけ…

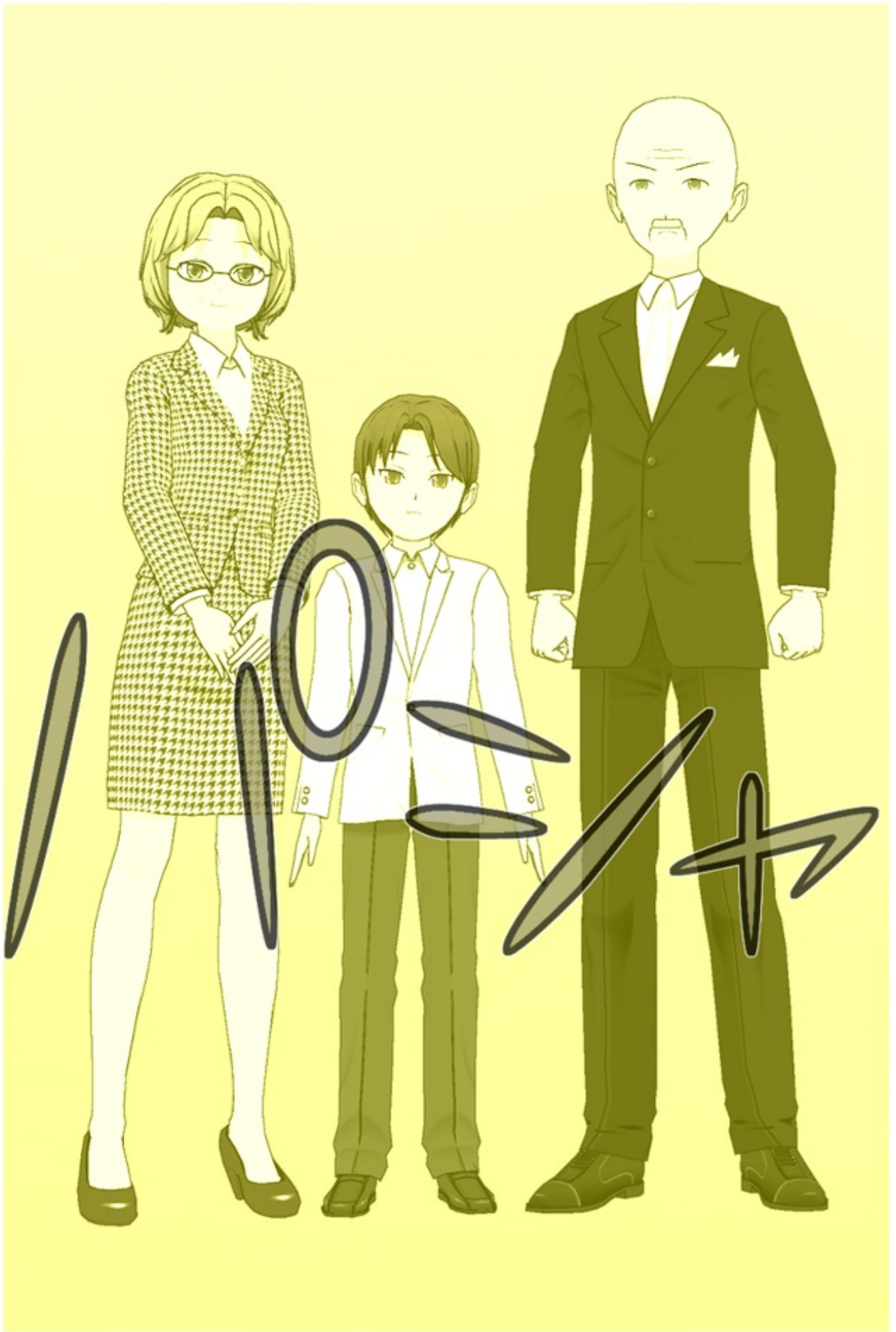






かつてもまたこんな風景を

眺めていたのかも知れない





悠久より続く

心地良い夜風と共に

時が

ゆっくりと流れて行く

カル
けん!!



『ウルヴァンラッシュ』完

カルけん！！（１１）

<http://p.booklog.jp/book/89014>

著者：アストン＝路端

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/robounoishi2009/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/89014>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/89014>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ